

7:18 ダビデ王は【主】の前に出て、座して言った。「【神】、主よ、私は何者でしょうか。私の家はいったい何なのでしょう。あなたが私をここまで導いてくださったとは。

7:19 【神】、主よ。このことがなお、あなたの御目には小さなことでしたのに、あなたはこのしもべの家にも、はるか先のことまで告げてくださいました。【神】、主よ、これが人に対するみおしえなのでしょう。

7:20 ダビデはこの上、何を加えて、あなたに申し上げることができるでしょうか。【神】である主よ、あなたはこのしもべをよくご存じます。

7:21 あなたは、ご自分のみことばのゆえに、そしてみこころのままに、この大いなることのすべてを行い、あなたのしもべに知らせてくださいました。

7:22 それゆえ、申し上げます。【神】、主よ、あなたは偉い方です。まことに、私たちが耳にするすべてにおいて、あなたのような方はほかになく、あなたのほかに神はいません。

7:23 また、地上のどの国民があなたの民イスラエルのでしょうか。御使いたちが行って、その民を御民として贖い、御名を置き、大いなる恐るべきことをあなたの国のために、あなたの民の前で彼らのために行われました。あなたは、彼らをご自分のためにエジプトから、異邦の民とその神々から贖い出されたのです。

7:24 そして、あなたの民イスラエルを、ご自分のために、とこしえまでもあなたの民として立てられました。【主】よ、あなたは彼ら

の神となられました。

7:25 今、神である【主】よ。あなたが、このしもべとその家についてお語りになったことばを、とこしえまでも保ち、お語りになったとおりに行ってください。

7:26 こうして、あなたの御名がとこしえまでも大いなるものとなり、『万軍の【主】はイスラエルを治める神』と言われるように。あなたのしもべダビデの家が御前に堅く立ちますように。

7:27 イスラエルの神、万軍の【主】よ。あなたはこのしもべの耳を開き、『わたしがあなたのために一つの家を建てる』と言われました。それゆえ、このしもべは、この祈りをあなたに祈る勇気を得たのです。

7:28 今、【神】、主よ、あなたこそ神です。あなたのおことばは、まことです。あなたはこのしもべに、この良いことを約束してくださいました。

7:29 今、どうか、あなたのしもべの家を祝福して、御前にとこしえに続くようにしてください。【神】である主よ、あなたがお語りになったからです。あなたの祝福によって、あなたのしもべの家がとこしえに祝福されますように。」

主のために自分がしたいと思ったことが受け入れられなかったダビデですが、彼はそれを不満には思いませんでした。むしろ主の祝福の約束とこれまでの守りに対して、心から感謝したのです。そしてそれは的を射たものでした。主はダビデとイスラエルを愛して、その御心を行われるからです。

このように自分の思い通りにいかないときこそ主に感謝しましょう。これまでの主の恵みは消えることはありません。また主の愛は変わることが

ありません。そこに人生の基盤を置くら、私たちの考えは揺るぎません。本当の平安が与えられ、最善の道をからそれることはありません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

